

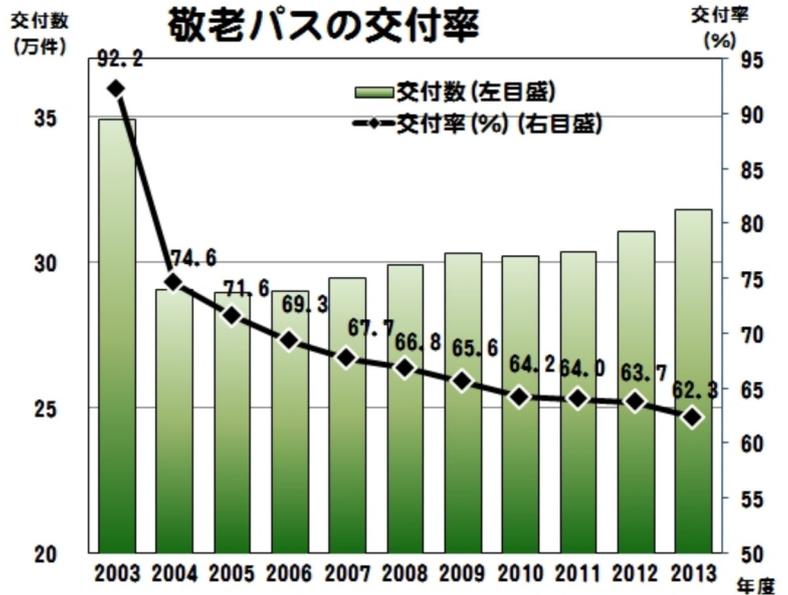
名古屋市政 2015年データ集 敬老パス

市民の宝・敬老パスを守ろう

河村市長は敬老パスを事業仕分けにかけ、負担金の見直しをしようとした。しかし市民の力でこれを食い止め、65歳からの敬老パスを守ってきました。

敬老パスの効果は、名古屋市の調査でも316億円の経済効果があり、健康や社会参加という大きな効果も明らかになっています。

おかげさまで市バス・地下鉄累計乗車人員300億人達成!



敬老パスの経済効果は

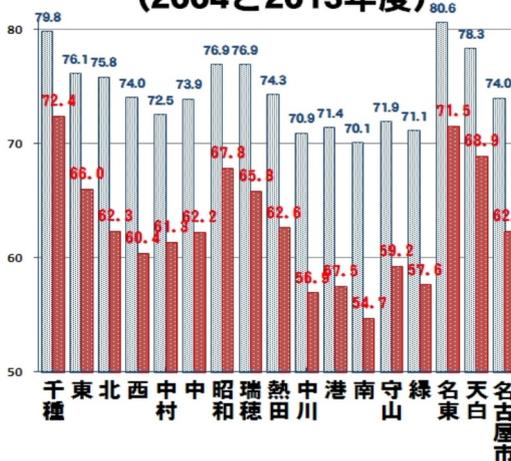
316億円

事業費の2.5倍の効果

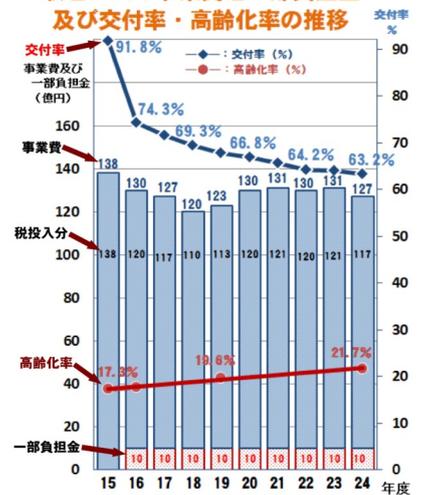
- 社会参加効果** 外出回 1.2回 バスごとの回数 0.5回増
パスがないと出かけない高齢者 4万8千人
- 健康効果** バスによる増加歩行数 1400歩
- 経済効果** 一人平均消費額 4,210円/回
喫茶代は全国一位 12,367円/年
- 環境効果** バスの利用と車利用を控える人 4万人
二酸化炭素(CO2)削減 6,500トン

現行制度を継続し
さらなる充実を!

敬老パス区別交付率 (2004と2013年度)

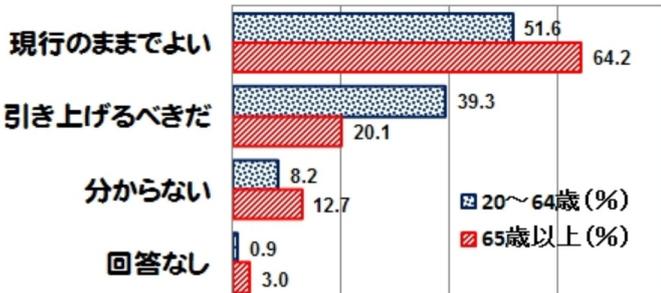


敬老パスの事業費と一部負担金及び交付率・高齢化率の推移



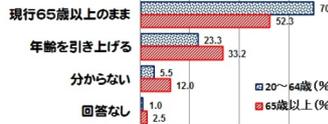
一部負担金について

(名古屋市・敬老パス市民アンケートより)



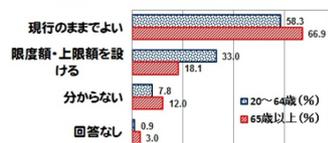
対象年齢について

(名古屋市・敬老パス市民アンケートより)



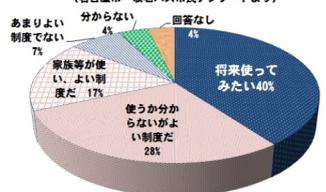
限度額・上限額について

(名古屋市・敬老パス市民アンケートより)



敬老バスをどう思うか (20~64歳の方)

(名古屋市・敬老パス市民アンケートより)



交付を受けない理由 (65歳以上)

(名古屋市・敬老パス市民アンケートより、複数回答)

